

# グランドデザイン

<p>【生徒／学校の現状】 ○昭和12年に東京府立第十中学校として開校し、平成29年に創立80周年を迎えた伝統ある進学校。 ○令和2年度東京都教育委員会の指定事業 進学指導重点校／東京グローバル10／理数研究校／Society5.0に向けた学習方法研究事業</p>	<p>【教育目標】 心身ともに健全で、平和的・文化的な社会の向上発展に貢献し得る有為な人材を育てる。  【教育方針】 国際社会で活躍できる器の大きな人間の育成 ⇒「文武二道」「自主自律」「授業で勝負」</p>
<p>【予想される社会の変化】 情報化／グローバル化／人工知能（AI）の進化と普及／ 超高齢化社会／貧富格差の拡大</p>	<p>【学校像/学校経営計画】 本校の歴史と伝統を受け継ぎ、使命感、倫理観をもった教職員の協働体制のもと、豊かな知性・教養、健やかにして自律した個性をもつ調和のとれた人間の育成に努め、生徒一人一人の自己実現を支援し、国際社会で活躍できる大きな器の人間を育てる学校づくりを目指す。</p>



【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】  
**予測困難な時代を生き抜き、豊かな知性・教養、健やかにして自律した個性をもつ、国際社会で活躍できる調和のとれた大きな器の人間を育てる。**



【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】

- ① 自らの考えを醸成するための知識の習得 ～ 何をどのように学ぶか ～
- ② 新たな状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成 ～ 理解していることから、課題をどう分析し解決するか ～
- ③ 多様な学びに向かう姿勢・人間性の涵養 ～ 粘り強く取り組み、他者と協働体制を作れるか ～

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力			S	A	B	C	目指すべき 生徒の将来像
知識の習得 ①自らの考えを醸成するための	学ぶ力	必要な知識の習得	必要な知識を系統的かつ横断的に学び、定着させている。	必要な知識を系統的に学び、定着させるよう、主体的に取り組んでいる。	必要な知識を学び、定着させるよう、主体的に取り組んでいる。	必要な知識を学ぼうとしている。	
	統合力	知識を統合する力	習得した知識を整理し、統合した上で、発展させることができる。	習得した知識を整理し、統合することができる。	習得した知識を統合しようとしている。	習得した知識を身につけようとしている。	
思考力・判断力・表現力の育成 ②新たな状況にも対応できる	課題分析力	課題を分析し検討する力	適切な観点を定め、課題を分析し、検討することができる。	観点を定め、課題を分析し、検討することができる。	課題を分析し、検討することができる。	課題を分析し、検討しようとしている。	
	問題解決力	解決策の構築	課題に対して、多面的、多角的な観点から解決策を提案し、行動することができる。	課題に対して、解決策を提案し、行動することができる。	課題に対して、解決策に気づき、行動しようとしている。	課題に対して、解決策に気づくことができる。	
多様な学びに向かう姿勢・人間性の涵養 ③多様な学びに向かう姿勢・人間性の涵養	行動力	主体的かつ継続的に取り組む力	多様な教育活動において、主体的かつ継続的に取り組み、より良いものを目指して行動している。	多様な教育活動において、主体的かつ継続的に取り組み、より良いものを目指す姿勢がある。	多様な教育活動において、主体的に取り組んでいる。	特定の教育活動において、主体的に取り組んでいる。	
	集団貢献力	リーダーシップ及び他者との協調性	リーダーとして、他者と協調しつつ、全体を視野に入れて、集団を適切に導くことができる。	リーダーとして、他者と協調しつつ、全体を視野に入れて行動することができる。	他者と協調しつつ、全体を視野に入れて、自らの役割を果たすことができる。	他者を意識しつつ、自分に与えられた役割を果たそうとしている。	

